

伊勢半

ヒロインメイク20周年を 記念したイベントを開催

伊勢半は4月16日、東京都品川区のシティホール&ギャラリー五反田にて「ヒロインメイク20周年Anniversary」天まで届いた〜PR取材会を開催した。



冒頭では、「コミュニケーション本部広報宣伝部の松本智子氏が登壇し、2005年に誕生した「ヒロインメイク」のブランドヒストリーを紹介。ブランドのモットーとして掲げる

「天まで届け」にちなんで、「2014年に発売した『スーパーWP』シリーズの累計販売本数を積み上げると地上約4000kmの宇宙空間に達する」と説明した。近年は、エリザベート・姫子の3D化による動画施策や、YouTubeとのタイアップなどデジタル化する難しさを振り返って盛り上がりを見せた。

た。現在の主力商品である「第三のマスク」は、耐久性だけでなく落しやすさにも配慮した設計で、「当社の『妥協しないものづくり』の姿勢が反映されている」（松本氏）と語った。

イベントでは、スペシャルムービーとして姫子とマスクカフを成層圏に打ち上げる様子を公開。さらに、2018年よりイメージキャラクターを務める山本舞香氏が登壇し、ヒロインメイク20周年の歴史とあわせて自身のタレント活動について振り返るトークセッションやサプライズケーキなど、節目を彩る演出

紅麹事業撤退で「紀の川工場」閉鎖へ、 梅丹本舗製品も販売休止を継続

小林製薬は、紅麹原料の生産を行っていた紀の川工場（和歌山・紀の川市）を6月30日に閉鎖する予定だ。梅丹本舗の製品も販売休止を継続するが、中長期的には梅肉エキスを使った新製品の可能性を検討していくという。なお、工場閉鎖にともなう業績への影響は軽微としている。

ファンケル黒のマイクレ 発売2年で累計販売本数500万本を突破

ファンケルは、2023年4月から発売している毛穴ケアに特化した黒のマイクレンジングオイル「マイルドクレンジングオイル（ブラック&スムース）（黒のマイクレ）」（120mL1980円）が累計販売本数500万本を突破した。

近年のクレンジの除去機能を追加したものが、このマイクレは、「マイルドクレンジングオイル」のメー



PlasMEDi(プラスメディ) 代表

竹岡 篤史 氏



化粧品の研究開発で、より高い専門的な知識や技術を持つ企業が共同開発パートナーとなり、高付加価値化を実現する事例が増えている。竹岡氏が代表を務めるPlasMEDiもその1社で、世界各国の研究機関や原料開発パートナーのネットワークを活かした

「ボ」を活用して商品開発に取り組んでいる。6月5日にはハイサード社と開発に取り組んできた頭皮・髪用エッセンス（アンプールのナトリウムペアルカルプ&ヘアエッセンス）の発売が控えているという。竹岡氏は「毎年100種前後の新しい化粧品原料が誕生し

ている中、日本初、世界初といった新規性だけでは差別化が難しくなっている」と述べ、日本では初めて「ボンディングペプチド」を採用するとともに、ブランドの独自成分「ブラ

開発パートナーとして実績多数 身近な化粧品ラボで研究を深化



「肌」にいいと注目されている成分が、どのように配合するのが効果的なのかといった疑問に答えるのは意外と難しく、あまり知られていない」と述べ、「成分などのふとした疑問にも気軽に答える『身近に感じられるラボ』を目指して今後も研究を続け、オープンイノベーションの推進により、化粧品のさらなる進化に貢献していきたい」と話した。（菅